

地域の魅力をコンテンツ化して発信

## T- BOLAN 森友嵐士 ～女神に捧げる祈りの歌～ 紙祖神 岡太・大瀧神社で奉納ライブを実施

10月11日、こしの都ネットワーク株式会社（代表取締役社長 三田村紘二）は、地域の魅力発信の一環として、岡太・大瀧神社秋季例大祭にあわせて、公開収録「森友嵐士～女神に捧げる祈りの歌～」を実施しました。



1500年の歴史を今に伝える…

全国で唯一、『紙祖神』を祀り、地域の営みを守り続ける 岡太・大瀧神社



岡太・大瀧神社は、山頂にある奥の院と山のふもとに建つ里宮からなる神社で、奥の院は「延喜式神名帳」（926年）にも記載されている。里宮の本殿と拝殿は江戸時代後期の社殿建築の粋を集めて建てられたもので、幾重にも波が寄せあうような複雑な屋根やいたるところに施された彫刻の壮麗さは圧巻。1984年（昭和59年）、その歴史的記録の確かさと建築の美しさから、国の重要文化財に指定された。岡太神社には紙の神様、川上御前が祀られている。

※越前市観光協会サイトより

問い合わせ



こしの都ネットワーク株式会社  
（旧：丹南ケーブルテレビ株式会社）

担当：林・西村

福井県越前市塚町 101 武生商工会館 2 階

電話 0778-51-0101 メール [seisaku@koshinomiya.jp](mailto:seisaku@koshinomiya.jp)

番組では、歌手で、墨象家でもある森友氏が、越前和紙の産地・越前市五箇地区をめぐり、日本の伝統的なものづくりと、そこに根付く信仰や、人々の思いを感じながら、未来への祈り、人々の願いを歌や書に込めて表現しました。



ライブ前には手漉き和紙の漉き場を訪問しました。

1枚1枚丁寧に漉かれる越前和紙。

この地に根付いてきた紙漉きの技や、それを受け継ぐ精神に触れました。

また国の重要無形文化財「越前奉書」の保持者（人間国宝）・九代 岩野市兵衛氏との対談が実現しました。長年その技を一心に守ってきた岩野氏の信念をじっくりと伺いました。



左から、外林省二氏、森友嵐士氏、岩野市兵衛氏、岩野順市氏

ライブでは、かがり火と、ろうそくの灯りとともにライティングされた幽玄な世界観の中で森友氏の墨象家としての師匠である外林省二氏とともに、幅2m 縦1.5mの手漉きの越前和紙に揮毫し、力強い作品を生み出しました。



その後、ピアニスト小島良喜氏の伴奏で、静寂な雰囲気の中で力強い歌声を披露。自身のヒット曲「マリア」「離したくはない」を含む全10曲を歌い上げ、訪れた人々を魅了しました。



この模様は、こしの都ネットワークコミュニティチャンネル「こしの都 TV9ch」で放送するほか、YouTubeでも配信していく予定です。